

組み立てが簡単で美しい

鯉のぼりセット

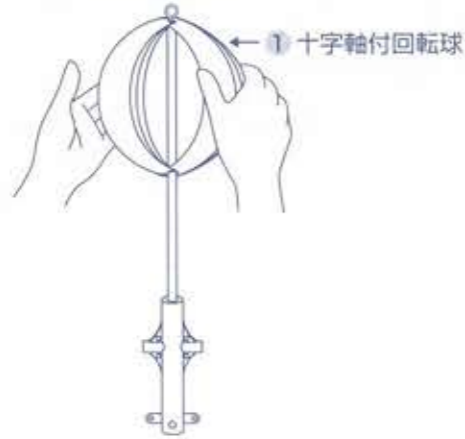
組立・使用説明書

H-03

部品明細

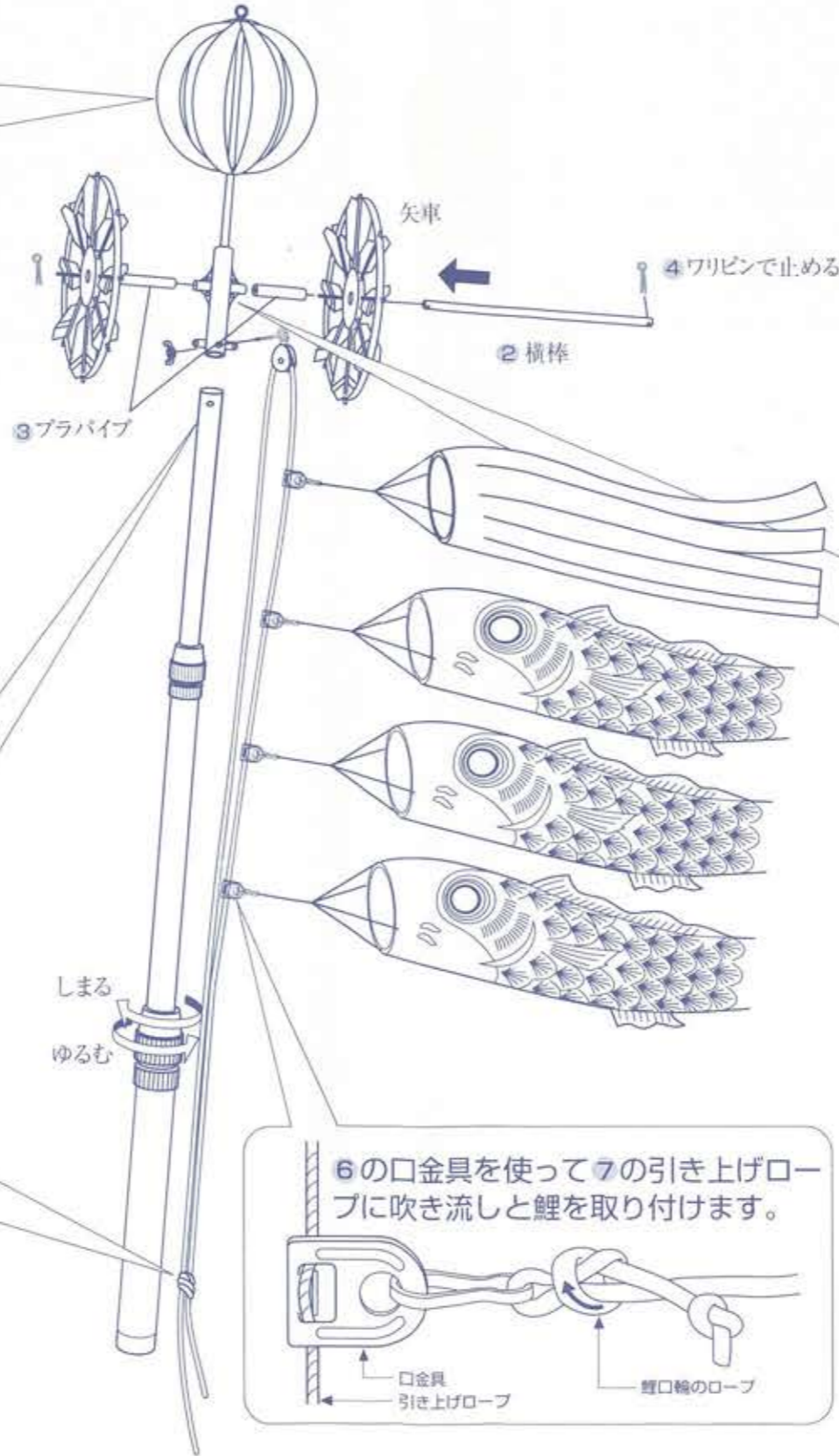
回転球の組立

①の十字軸付回転球を広げます。



ポールの先端から各段最後まで伸ばして締めて下さい。
 図は3本継ぎのものですが、4本継ぎのポールもあります。

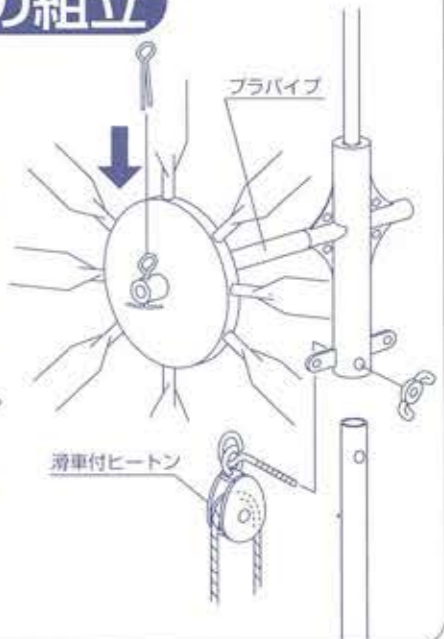
ロープの先を結びポール受金具又は手摺にしっかり結び付けて下さい。
 ※ポール受金具の組立は別紙をご参照下さい。



- ① 十字軸付回転球……1ケ
- ② 横棒……1ケ
- ③ プラパイプ……2ケ
- ④ フリピン……2ケ
- ⑤ 滑車付ヒートン……1ケ (蝶ナット付)
- ⑥ 口金具……4ケ (ボール受金具の中に入っている場合もあります。)
- ⑦ 引き上げロープ……1ケ

矢車部分の組立

②の横棒を①の十字軸付回転球に差し込み、左右に③のプラパイプと矢車を入れて④のフリピンを差し込み曲げて固定します。
 ⑤の滑車付ヒートンで矢車部分とポールをつないで下さい。



注意

窓や屋上から外に突き出して鯉のぼりを立てられる時、電線に触れないよう充分ご注意ください。
 シーズン終了後、回転球部分はできるだけ組立てたまま保存して下さい。

A型取付金具取扱説明書

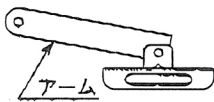
この取付金具を正しくお使いいただくため、ご使用前にこの取扱説明書を良くお読み下さい。

取付可能なベランダ

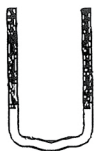
縦棧の太さ 直径又は一辺の長さが1.9cm以上3cm以内
 縦棧の間隔（中心から中心まで） 12cmから13cm

セットされている部品

本体A 1ヶ



Uボルト 4ヶ



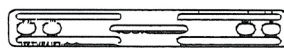
本体B 1ヶ



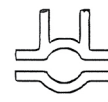
蝶ナット 9ヶ(1ヶは予備)



サポートバー 1本

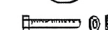


ポールホルダー

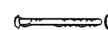


部品C 1ヶ

部品D 1ヶ



六角ネジ 2組



丸頭ネジ 2組



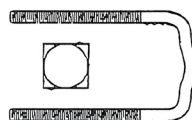
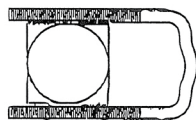
(内1組はポールとボトム接続用です。)



ご使用上のご注意

- * お子様の手のとどかないところで、上記の部品が全部揃っているかご確認ください。(小さな部品は、紛失しない様に十分御注意下さい。)
- * 部品を落下させないで下さい。万が一部品を落下させてしまった場合を考え、階下の安全をご確認の上ご使用下さい。
- * ベランダの形状により取り付けできない場合もありますので次のことを確認して下さい。(取付けできない場合は、販売店へ御相談下さい。)

1. ベランダの縦棧にUボルトをあてがいUボルトに入るか確認する。



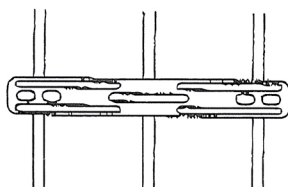
細い場合

縦棧に布・テープ等を巻いて下さい。

2. ベランダの棧にサポートバーをあてがい孔が合うか確認する。

イ.

ロ.



縦棧の間隔が合わない場合

サポートバーを横にずらし、一方を

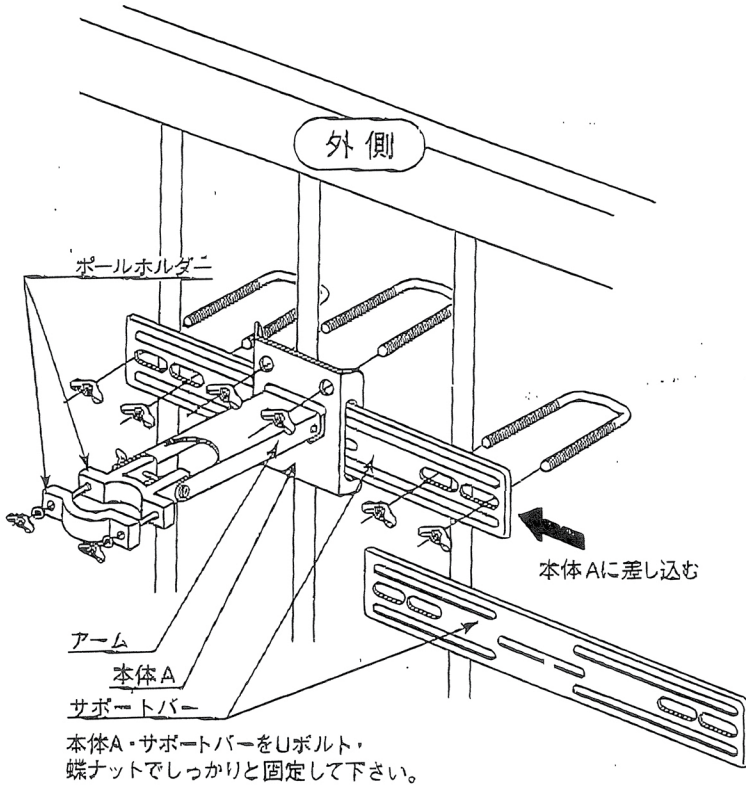
Uボルトで止めもう一方はハリガネ、ロープ等でしっかり固定するようお取り付け下さい。

ご使用方法

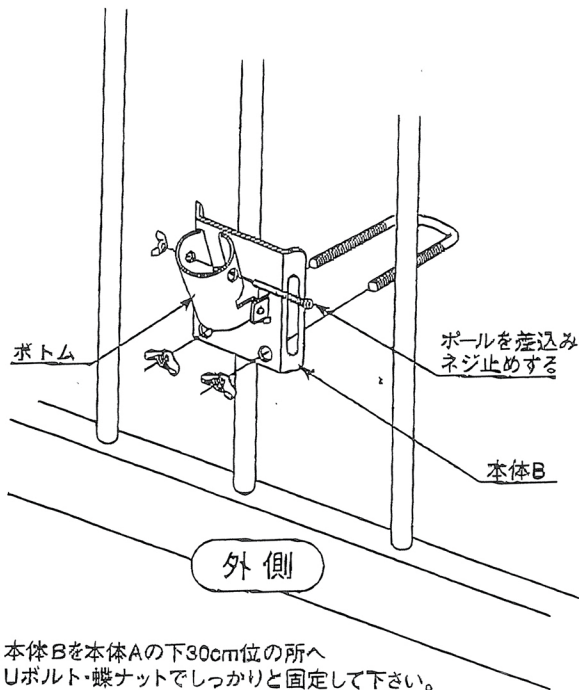


階下の安全をご確認の上、取り付けを始めて下さい。

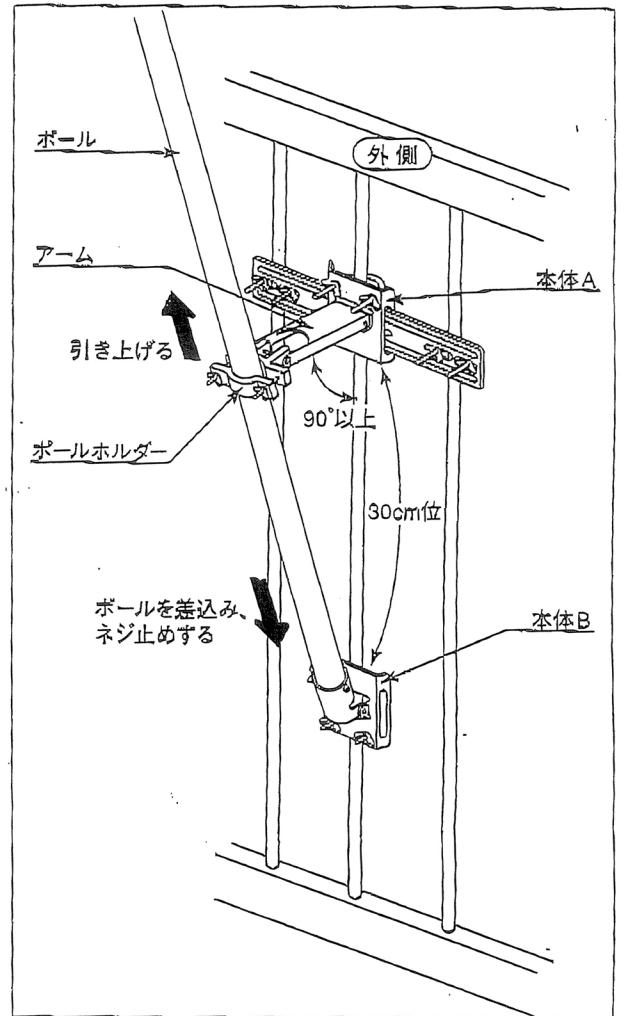
- ① 初めに、ポールホルダー部品C・Dを六角ネジ2組で仮止めし、それを本体Aのアームに丸頭ネジ1組で仮止めして下さい。(下図参照)



②



③



矢車・滑車(又はリング)・ロープをセットしたポールをポールホルダー部品C・Dの間に通し、ボトムの奥まで差込んで下さい。

次に、ポールをボトムに丸頭ネジ1組でしっかりと固定し、その後、アームと縦棧の角度が90度以上になるまでポールホルダーを上方へずらし、ポールホルダー部のネジ3組をしっかりと締付けて下さい。

- ④ ポールホルダー部のネジの締付けが不十分だとポールの落下及び金具の破損の原因となりますのでご注意ください。



鯉のぼりのロープは、落下防止のため手摺等にしっかりと縛り付けて下さい。

各ネジ部等のゆるみ・損傷を一日一回必ず点検して下さい。

取付金具製造元 株式会社 三 共

〒333-0832 埼玉県川口市神戸97番地
TEL 048 (282) 5511